

研究課題【染色体異常が ATL に対する同種移植に及ぼす影響】に関

する患者さんへのお知らせ

京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科では、1998年6月から2012年12月の期間に、成人T細胞性白血病(ATL)に対して初回の同種造血幹細胞移植を施行され、日本造血細胞移植学会 一元化登録事業 (TRUMP) データベースに登録されており、染色体異常の有無に関する情報が分かっている、治療当時16歳以上であった方を対象に、染色体異常が移植成績に与える影響を解析する研究を行います。

この解析対象には、日本国内で非血縁者間骨髄移植治療を受けられる患者さんで、治療前に上記 TRUMP データベースへの参加に関して、主治医から説明し、書面にて参加同意をいただいた患者さんになります。情報収集する項目としては、TRUMP データベースに含まれている情報(年齢、性別、疾患名、治療内容、ドナー年齢、治療効果、各種検査結果、合併症の有無、移植後の臨床経過)が挙げられます。さらに、詳細な染色体の情報、骨髄浸潤の有無、末梢血中異常リンパ球の割合、移植前のLDHの値、可溶性IL-2受容体の値についても情報収集を行います。すでに診療において実施された検査結果を用いるため、追加の検査はありません。患者さんから得られた検体(血液や細胞)そのものを用いた研究は含まれません。研究成果は学会、論文にて公表を行います。解析を開始する前に、あなたの検体や診療情報からは住所、氏名などが削られ、代わりに新しく符号がつけられます。これを匿名化といいます。本研究においても匿名化することで、個人情報保護されます。研究計画書および研究の方法に関する資料をご希望の場合は、研究責任者にご連絡頂ければ、他の研究対象患者さんの個人情報及び、本研究に関する知的財産の保護等に支障がない範囲内で、公表致します。情報を本研究のために使用されたくない方は、あらかじめご連絡いただければ TRUMP データベースへの参加を取り消し、ならびに解析対象から除外いたします。このような場合でも、治療において不利益を被ることはございません。ただし、既にどなたの情報かわからないように匿名化されていて除外不可能な場合には、ご希望に添えないこともあります。

研究の主たる責任者及び連絡先は、公益財団法人慈愛会 今村病院分院 血液内科 中野伸亮、電話番号 099-251-2221 であり、当院の責任者は京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 近藤忠一、電話番号 075-751-3152 です。また病院にも連絡窓口を設けております。連絡先は、京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp です。